



はっぴょう会への道

山本悦子

ひなこは学校のはっぴょう会で行うげきで、セリフの多い役になってしまいました。練習もうまくいかず役を変えてもらおうか迷いましたが、もともとやりたい役ではないのは、自分だけではないと知り… (あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

- あぶた読書の家** (☎ 76-2100)
[時間] 10時～16時30分 [休館日] 木曜日、祝日
- みずうみ読書の家** (☎ 76-2100(あぶた読書の家))
[時間] 9時～17時 [休館日] 木曜日、祝日
- 洞爺総合センター図書室** (☎ 82-5111)
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

新刊案内

■あぶた読書の家

△一般▽▽カフェネ(阿部

暁子)▽花のたましい(朱川

湊人)▽みつばの郵便屋さん

階下の君は(小野寺史宜)▽

少年とクスノキ(東野圭吾)

▽真実の幻影(堂場瞬一)▽

往来絵巻 貸本屋おせん(高

瀬乃一)▽ニンジャ公安外事・

倉島警部補(今野敏)▽パズ

ルと天気(伊坂幸太郎)▽ぼ

くは刑事です(小野寺史宜)

△**児童書**▽▽キケンからキ

ミをまもる!山あそびのやく

そく(佐藤繁一)▽ゆるゆる

生きた化石図鑑(加藤太一)

▽トノサマガエルの家さがし

(muu)▽わかったさんの

チョコレート(寺村輝夫)▽

おにぎりぱく!(はらぺこ

めがね)▽うたものがたり(い

まむらあしこ)▽りよこう(麻

生知子)▽どきどきかくれ

んぼ(竹下文子)▽しばおと

さがそう!だいきのりもの

(カワダクニコ)▽ちがいさ

がしのへや(shimizu)

▽グッスリホテルへようこそ

- 絵本の玉手箱 9月のおはなし会**
- 日 時 ①9月15日(月)10時～11時30分②9月19日(金)14時30分～15時30分
- 場 所 ①あぶた母と子の館②あぶた読書の家
- キッズタイム**
- 日 時 9月20日(土)10時～11時30分
- 場 所 あぶた母と子の館
- 対 象 乳幼児および保護者
- 問 合 せ 佐藤 (☎ 76-2487)
- ピノキオの会読み聞かせ**
- 日 時 9月18日(木)14時10分～14時40分
- 場 所 虻田小学校図書室
- 問 合 せ 松本 (☎ 76-2613)

(あさくらまや)おっかけにんじゃ(大串ゆうじ)

■洞爺総合センター図書室

△一般▽▽蛭たちの祈り

(町田そのこ)▽あの夏のキ

ミを探して(汐見夏衛)▽チョコ

レート・ピース(青山美智

子)▽情熱(桜木柴乃)

△**児童書**▽▽たった2℃で:

ー地球の気温上昇がもたらす

環境災害(チョンジンギョン)

▽ぴかぴかへんしん!おぼけ

ちゃん(ひらぎみつえ)▽もた

いないばあさんのおばあちゃん

(真珠まりこ)▽潜水船で

もぐってみたら?海底11,

000メートルのたんけん

地域おこし協力隊



通信

vol.88

今月の
リポーター
亀田昇吾さん



前

回の記事では、今後より顕在化する可能性が高い「洞爺湖町民が暮らしていくくなる」という問題について簡単に整理しました。今回はその問題が中長期的にどのような影響をもたらすかについて書いてみようと思います。

令和6年度、洞爺湖町の町内宿泊客数は6万5881人泊、平均消費単価は7万114円で年間観光消費総額は約453億円にのぼります。しかし、町民が暮らしていくさを感じて転出が進むと、空家や耕作放棄地が増加し、地域文化を支える人手も減少していきま

中止を余儀なくされます。これにより、観光客の滞在動機を支えてきた「透き通った湖面に映える四季の風景」や「地域住民が織りなすおもてなし体験」が薄れ、訪問客一人当たりの消費が減少していきます。仮に5%減少すると、宿泊客だけで約22.6億円の売上が失われます。さらに、日帰り客を含めた全体では30億円規模の損失が見込まれます。また、住民減少に伴う税収減がインフラ更新投資の足かせとなり、劣化した道路や公衆トイレ、観光案内所の設備不備が「安全・快適な観光地」という評価を損ないます。

町民が安心して暮らせるように洞爺湖町の経済価値が地域に還元(再投資)されることは、持続可能な観光地経営には不可欠なのです。